

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和元年度 第2回常任理事会 議事録

日時：令和元年9月3日（火） 19：30～21：50

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、寺門、小森、山倉、大内、笥、細田、荒井、宇都木、武士、田中、新堀

欠席：0名

書記：（総務部副部長）開江

令和元年9月3日19時30分、茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内）において、理事12名出席の下、常任理事会を開催し下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、21時50分散会した。

【I 審議事項】

1. 連絡網の作成について ⇒ 継続審議（総務部 荒井部長）
 - ・日本作業療法士協会から依頼があった大規模災害発生のシミュレーションを2019年9月25日実施予定としている。
 - ・会員の連絡網作成を例年進めているが、登録数が伸びないため、登録数の増加に向けての対応について審議がなされた。
 - ・登録数が伸びない原因としては、所属施設が登録しているか否か確認できない、所属施設の登録情報が確認できない、ダウンロードページが分かりづらい、等の意見が挙げられている。
 - ・現在、メルマガの登録施設一覧は作成済みでありメルマガ登録施設をHP上に掲載する準備は整っている。
 - ・所属施設の登録状況については、県士会HP上に個人ページを作成し個人ページ内で登録状況を確認していただく形とする。
 - ・個人ページへのログインに関してはパスワードを設け、会員宛ての広報誌にてパスワードを周知していく。個人ページ内の掲載情報としては、メールアドレスや住所といった個人情報掲載せず、あくまで登録状況の有無を確認するのみとする。
 - ・ダウンロード、申請に関しては、HP上に申請書類一式のパナーを掲載することやHPデザインを見直すことも提案されており、随時申請がしやすい形となるよう対応していく。
2. 「心のバリアフリーとリハビリテーションを推進する映画作成」支援金協力について ⇒ 承認（事務局 小森局長）
 - ・県士会宛に映画作成イベントへの支援金の協力について依頼があった。支援金額は1口3万円となっており、今年度、当士会として協力していくか審議された。
 - ・以前にも映画作成についての依頼があり協力した経緯もあったが反響としては少ない印象であった。また、今回の依頼詳細としては作成ではなく公開に対する支援依頼となっている。映画が上映される場所としては、一か所の映画館とWEB上の限られた場となっており、視聴対象者も限られる。
 - ・今年度、様々な新事業が稼働している関係もあるため財務としても支援をしていくことは難しい。
 - ・今回の支援依頼については見送り、再三の依頼があった際は再度審議としていく。
3. 事務所USBメモリーについて ⇒ 承認（事務局 小森局長）
 - ・事務関連のデータを保存していたUSBメモリーが故障し過去のデータが使用出来ない状況となった。
 - ・定期的使用するデータはメール等からさかのぼることが可能であり、現在の事務業務としては大きな問題が生じていない。その他のデータに関しても、使用頻度が非常に少ないものと考えている。
 - USB修復に関わる費用について業者に確認をしたところ、修復費としておおよそ13万円ほどが見込まれるとの回答であった。現在の事務業務の状況を踏まえて、USBメモリーの修復を行うかどうか審議が行われた。

- ・現在の事務業務の状況から、大きな問題は生じていないため、今後必要に迫られた際に修復をすることとし、今回 USB メモリーの修復はしないこととする。
- ・監査に必要な書類関係も紙媒体でファイリングされており問題はないが、再度確認はしておく。
- ・今後のデータ保存に関しては、外付けハードディスクを使用しバックアップを取り、破損によるデータ紛失が生じないように配慮して行く。
- ・外付けハードディスクを使用するとしても定期的にハード面の更新をしていく必要はあり随時対応をしていく。
- ・今回の USB メモリー破損とは別件となるが、会員の登録状況等重大なデータに関してもバックアップを徹底し紛失が生じないよう再度確認し対応をしていく。

4. 地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会の報告と

事業計画について ⇒ 継続審議

(イキイキ地域づくり事業部 新堀部長)

- ・地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会への参加報告がなされ、今後の方向性について審議がなされた。
- ・今後の方向性としては、地域包括ケアの推進と MTDLP を一本化、連携して進めていく形として行く。
- ・地域包括ケアシステムに OT が積極的に関わっていく中で、OT として作業を主体にした考え方をアピールしていく必要があり、そのためには MTDLP を武器にしていく必要がある。OT が MTDLP をしっかりと使っていけるようにしていく。
- ・協会からの情報については、般化された情報となっており、各県士会の地域柄に合わせ、各々が知恵を振り絞り考えていく必要がある。県士会としても部局をまたいで連携をとって事業を進めていく。
- ・現状として、市町村とどの様に関わっていくのか、地域ケア会議でどのように OT らしさをだしていくのか、OT の理想が地域担当者のニーズに合っているか、手探りの状況でもある。
- ・現在実施している研修会を表向きだけではなく、地域、包括支援センター、行政等、領域をまたいで案内を出していき、OT の考え方を外向きにアピールしていくことも検討していく。

5. 市民公開講座（小児分野）開催について ⇒ 継続審議

(子ども委員会 田中委員長)

- ・子ども支援を行う上でのコミュニケーションの理念・手段をテーマとした、広域的な学びの機会を作るため、市民公開講座としての領域をまたいだ講演会を開催したい。さらに実施を通して参加者からのニーズの掘り下げも行っていきたいと考えている。
- ・企画書が提出され、開催の可否について、企画内容、講座の開催回数等について審議が行われた。
- ・今年度の事業として、すでに 2 回の市民公開講座が予定されており、予算を算出している（交通費、託児等）為、財務的には大変厳しい所。
- ・開催案としては、学会での市民公開講座として実施し、学会費等と合わせて再度検討していく。
- ・県庁の担当部局にも案内を出して、障害福祉課の課長等にも挨拶等参加を促していく。県士会主催の講座であり、OT 以外の職種の専門知識を学ぶことを考慮しながらも、講師は OT メインで調整をしていく。
- ・ポスター、チラシ等の広報も学会部と連携して行っていく。

6. 学童保育に対する作業療法の連携について ⇒ 承認

(子ども委員会 田中委員長)

- ・岡山県学童保育連絡協議会より、社会福祉振興助成事業からの助成金を受けて OT 派遣をするというモデル事業への参加打診があった。資料提示の上、全国の状況、茨城県の状況について情報共有がなされ、その上で当士会としてどのように対応をしていくか審議がなされた。
- ・今回打診を受けたモデル事業を使用しなくても、他の制度を使用することで OT を派遣することができる態勢も整っている。
- ・全国の学童連絡協議会の最優先とする事項とはギャップがある状況でもあり、協会の立ち位置を把握した上で今回は見送ることとする。

7. ベネッセこども基金 助成応募について ⇒ 承認

(子ども委員会 田中委員長)

- ・本助成を受け、医療的ケアの必要なお子さんに関わる医療職に向けた研修会と、保護者に向けた研修会を開催したい。

- ・資料提示の上、応募の可否について、助成を受けた後の活動内容について審議がなされた。
- ・申請自体は問題なく、申請を進めていくこととする。
- ・研修会の開催案としては、ICTをテーマとした手作りのスイッチ製作会を候補と考えている。
- ・2段階での実施を考えており、スイッチ製作における協力者としてまずは医療職の研修を実施し、その後保護者向けに製作会を行いたい。講師候補としては、やまねこ工作室を考えている。
- ・研修会開催の際は、3Dプリンターを使用した玩具を作成する業者もあるとの情報もあり、併せて内容について検討していく。
- ・年度予算における財務処理の兼ね合いもあり、助成金の申請額が決定した際には財務部と協議をしていく。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

- いきいき茨城ゆめ大会について (総務部 荒井部長)
 - ・参加選手の障害区分の資格審査を7月13日(土)に実施済み。
 - ・9月1日につくば国際大学にてPT士会と合同にてコンディショニングルーム従事者の研修会を開催。各会場に人員配置済み。PT士会から各会場に1名ずつテーピングが可能な人員を配置してある。
 - ・各会場での顔合わせも終了。スタッフ数も充足している。
 - ・当日を迎えるのみとなっている。
- 2019年度監査について (総務部 荒井部長)
 - ・10月29日の9時30分から県の監査が実施される。常任理事・財務部長・総務部長が参加の予定。
 - ・前回監査時の指摘事項についても確認し対応していく。
- 茨城ロボッツについて (地域貢献局 細田局長)
 - ・OTフェスタの担当者の前担当者、茨城ロボッツと概要について確認をした。
 - ・茨城ロボッツからの要望として、イベント時にできるだけたくさんのOTに参加をお願いしたい。ファンの増加、シーズンを通しての観戦数増加につなげたい。
 - ・OTフェスタ開催日はOT会員の観戦費無料、同行家族は有料となっている。
 - ・会場の関係で、つくば、日立はOTフェスタの開催が難しい。水戸でのホームゲーム時にOTフェスタを開催することとする。
 - ・OT会員に向けては、HP上で広報を行う。ホームゲームの日程を確認し、ホームページ掲載用の広報データを作成していく。
- 高次脳機能障害支援ネットワーク協議会の報告について (地域貢献局 細田局長)
 - ・令和元年度1回茨城県高次脳機能障害支援ネットワーク協議会が開催された。
 - ・内容については、事業計画の進捗状況、技術支援、普及啓発事業等の報告等が行われた。
 - ・茨城県高次脳機能障害支援センターの活動としては、支援ネットワークの構築。
 - ・高次脳機能障害支援協力病院として、志村大宮病院、筑波記念病院でモデル事業を展開している。
 - ・医師会より、対象者が殺到して対応できなくなるのではないかと心配事項もあがっていたが現状では問題なく活動できている。
 - ・家族の会としては、たらい回しになるのではないかと不安の声があがっている。家族の会の不安要素も考慮して支援ネットワーク構築を継続していく。
- 市民公開講座について (地域貢献局 細田局長)
 - ・開催日：2019年12月8日
 - ・開催場所：土浦市 木城プラザ 開催場所周辺に駐車場が少ないのではないかと、この意見が挙がっており、確認をして行く。
 - ・テーマ：肢体不自由児の身辺動作の支援
 - ・講師：岸本 光夫先生(ソレイユ川崎)

- ・講師に市民公開講座の対象について確認をし、広報の範囲、対象者について検討し、余裕を持って行っていく。後援の依頼も部局内で行っていく。
- ・本講座のテーマを考慮すると、託児所についても人数、対象児についてしっかりと配慮していく必要がある。保育士+OT 協力者を募っていく。会場の配置、環境についても検討していく。
- ・小児分野のテーマの市民公開講座となるため、子ども委員会とも連携をしていく。
- ・今後の託児所設置における保育士については、責任所在をしっかりとしておくためにも専門業者に依頼をしていきたいところではあるが、立地的に難しいところでもあり検討を進めていく。

6. 学会進捗状況について

(学会部 宇都木部長)

①プログラム

- 1) 日時：2020年2月9日（日）
- 2) テーマ：「やってみたい、やってほしい、やってみよう」～暮らしを紡ぐ生活行為～
- 3) 会場：茨城県立医療大学
- 4) 当日日程

- ・受付 8：30～9：30 講義棟 エントランス
- ・開会式 9：30～9：45 講義棟 大講義室
- ・基調講演 9：45～11：00 講義棟 大講義室
講師 土井 勝幸（介護老人保健施設せんだんの丘 施設長）
- ・一般演題発表 11：15～12：15 各会場
- ・ランチョンセミナー 12：25～13：35 講義棟 中講義室
講師 西 マナミ（神立病院）
浅野 有子（デイサービス太陽と鳩たち）
大島 隆一郎（茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科）
松本 純一（ハートケアセンターひたちなか）

同時間で市民公開講座を大講義室で開催することを検討。子ども委員会田中委員長と協議していく。

- ・一般演題発表 13：45～14：45 各会場
- ・教育講演 15：00～16：15 講義棟 大講義室
講師 谷川 真澄（有限会社なるぎ 代表取締役兼作業療法士）
- ・閉会式、表彰式 16：30～16：40 講義棟 大講義室

②その他の企画

- ・託児所の設置 ・企業出展ブースの設置 ・ユーザー支援事業発表、
- ・自助具、アクティビティ展実施予定 ※講師依頼は郵送済
一般企業の自助具展参加は確認。
今後は、委員会の立ち上げや介護ロボット事業との連携も考えていく必要があるか。

③演題募集関連

- ・募集期間：2019年8月1日（木）～9月30日（月）
現状、サーバーが停止している。2～3日中に復旧の予定ではあるが、代替策（メールでの送信）を検討しておく。HP上にサーバーが停止している文面を載せておく。
定期郵送、ホームページにて広報中。

④名義後援依頼関連

- ・茨城県、つくば市、つくばみらい市、阿見町、常総市、IRPA、PT 士会、ST 士会、精神障害者支援事業者協会、精神保健福祉会、以上 10 団体に依頼。返信まち。

⑤広告関連

- ・幸和義肢研究所、茨城トヨペット、ロングライフ、シーティング工房 8、TB ファクトリー、クリニコ つくば営業所、(新) 酒井医療千葉営業所、(新) パナソニックエイジフリー 以上 8 社の広告依頼。
- ・病院関係は今後検討。協賛として参加いただくことも検討。

⑥機関誌関連

- ・ペーパーレスに向けて対応検討
機関誌郵送は、講師、広告・協賛企業、一般演題発表者、各種座長に実施。
会員へはホームページ内にペーパーレスへの移行と機関誌データをダウンロード出来る旨を定期郵送にて周知。当日の参加者へは参加費を収めて頂き配布を行う（無料）。

発注前に希望者は部数を報告することで無償にて機関紙を発行。それ以外は有償。

- ・入稿：11月上旬 発送：12月上旬予定
- 印刷業者についても、費用を抑えるよう検討中。

⑦その他

- ・第6回北関東信越ブロック学会（2020年11月開催予定）については古河・坂東医療圏CDに実行委員会組織を依頼中。承諾されれば、11～1月頃より実行委員会開始。
- ・アールの使用については確認中。

7. 月次提出における証憑紛失時の対応について

（財務部 武士部長）

- ・会計者からの指摘があり。証憑紛失時には謝金等の支払いが難しくなることを周知していく。

8. 茨城県作業療法士会からの茨城自民党への政策提言について

（大場会長）

- ・当士会より茨城県に対しての以下の5+2の要望を挙げた。
- ・認知症対策MCIの方への支援体制の再構築して頂きたい。
- ・包括支援センターへのOTの配置を要請する。
- ・特別支援学校において教員へのレクチャーはあるものの、当事者への支援には至っていない。実際場面での当事者への支援ができるように特別支援学校の中にOT配置を要請する。
- ・児童発達支援事業所の指導員の要件が曖昧で質の格差が出ている。質による差別化を図っていくための支援を要請する。
- ・教習所内へOTが関われるように要請する。
- ・自助具に関するコンペを企業とできるようにして頂きたい。
- ・小中高、職業説明会を県からの委託を受けて介入しけるようにして頂きたい。
- ・高齢ドライバーの免許返納について、地域等の実情に応じて設定して頂きたい。
- ・小児のレスパイト入院時の病院を実働させて頂きたい。

9. 次回令和元年度第3回常任理事会について

（総務部 荒井部長）

- ・年間予定表において、令和元年11月10日（日）9:00～、茨城県作業療法士会事務所にて開催の予定だが、当日の会長の日程調整が難しい為、再調整とする。